

「同時接種は怖くない！」

堺市 片桐 真二（上神谷保育所嘱託医）

ここ数年で我が国の予防接種は様変わりしました。諸外国では普通に接種されているワクチンが認可され、助成制度が拡大したからです。今ではワクチンデビューは生後 2 カ月です。赤ちゃんが可哀そうではなく、乳児早期罹ると重症化する病気から赤ちゃんを守る為に必要なのです。1 歳までに接種するワクチンはヒブ（3 回）、小児用肺炎球菌（3 回）、B 型肝炎（3 回）、ロタ（2 又は 3 回）、DPT-I PV4 種混合（3 回）、BCG と沢山あります。これらのワクチンを 1 週間、又は 1 カ月間隔で接種すると、とても間に合いません。出来るだけ早く免疫をつけるには同時接種は避けられません。以前から DPT3 種混合ワクチンや MR（はしか・風疹）ワクチンは 3 種又は 2 種を混合して安全に行われてきました。昨年 11 月からは DPT に不活化ポリオワクチンを加えた 4 種混合ワクチンになりました。混合ワクチンの開発が遅れた我が国では同時接種しか方法はありません。一昨年 2 月に同時接種による不幸な出来事があり、同時接種を一時中止しましたが、偶発的な紛れ込み事故と判明し、1 カ月後に再開されました。諸外国では同時接種は普通に行われていますので、我が国でも安全に接種できると考えられます。

同時接種できないワクチン組合わせはありません。接種部位は従来の上腕外側部の他、三角筋中央部や大腿前外側部です。日本小児科学会も同時接種で早期に免疫をつけることを推奨しています。同時接種は安全に受けられますので、保育所でも安心して接種するようお話し下さい。

（日本保育園保健協議会・健康安全講座）